



2014年6月23日

プレスリリース

一般社団法人 日本原子力学会

2011年3月11日に発生した東日本大震災において、多くの方々が犠牲となられ、また被災されましたことについて心からお悔やみとお見舞いを申し上げます。

一般社団法人日本原子力学会は、社会的関心の高い科学技術である原子力の広範囲にわたる**学術・技術専門家集団**として**社会への情報提供**を行うため、本会の主要な活動等について、随時プレスリリースを行っています。

今回は、6月20日に開催した一般社団法人日本原子力学会通常総会において選任されました新会長・副会長の紹介です。

新会長に藤田玲子氏が就任



第36代会長 藤田 玲子 (ふじた れいこ)

株式会社東芝 電力・社会システム技術開発センター 首席技監

【略歴】

東京工業大学総合理工学研究科電子化学科博士課程修了、理学博士。
(株)東芝(原子力技術研究所)入社。2012年より現職

【主な専門】

放射性廃棄物処理、乾式再処理、分離・変換技術開発

【会長挨拶】

2011年3月11日の東京電力(株)福島第一原子力発電所事故から3年が経ちました。日本原子力学会は本年3月8日に学会事故調査報告書を出版しましたが、その中で指摘しました提言を実施、フォローすることが第一のミッションと考えています。また、定款の改訂、倫理規定および行動指針の改訂を行いました。福島を深く反省し、福島の事故を契機として学術的に原子力の新たな分野を開拓し、研究に取り組んでいきたいと考えております。

今年4月にはエネルギー基本計画で原子力発電は重要なベースロード電源との閣議決定がありました。今一度、原子力災害の当事国として軽水炉の安全性のあるべき姿に真摯に向き合い、学術的に取り組むべき課題を明確にすると共に、高レベル放射性廃棄物の低減についても新たな学術的なアプローチで研究に着手したいと考えています。

また、従来から続けております、福島の方々の立場に立った情報提供や国との間に立つインターフェースの役割を担っている「福島特別プロジェクト」は引き続き、福島の再生のため積極的に進めていきます。

なお、副会長には下記の3名が就任いたしました。

上塚 寛 (独立行政法人日本原子力研究開発機構)

上坂 充 (東京大学)

柴田 洋二 (日立GEニュークリア・エナジー株式会社)

●記者会見のご案内

6月25日(水)16:00より日本原子力学会会議室(都港区新橋2-3-7新橋第二中ビル3F)において新旧会長の会見を行いますので、ご参加くださいますようお願いいたします。

以上